

## 第4学年算数科指導案

日時 平成27年11月13日（金）1校時  
場所 4年3組教室  
児童 4年3組  
授業者

1 単元名 「小数のかけ算とわり算を考えよう」 小数のかけ算とわり算

2 単元について

(1) 教材について

本単元では、小数の仕組みなどの理解の上に、小数×整数、小数÷整数の計算の仕方について理解し、それを用いる能力を高め、小数の数としての理解をよりいっそう深めるのがねらいである。小数は整数と同じ十進数であることから小数を整数化して考えることで小数の計算は整数の計算と同じように扱うことができる。また、除法に関連して小数倍（割合の見方）を取り上げる。

(2) 児童について

児童は、概ね学習意欲が高く、友だちの考えから学ぼうという意識がある。問題解決に当たって、問題文の分析や図・式・言葉の関連付けなどにも意欲的に取り組もうとしている。しかし、学習内容の理解や定着、計算の速さなど個人差は大きい。

単元の内容にかかわっては、整数の乗法や除法、小数のしくみについては概ね理解できているが、小数に対する苦手意識をもっている児童もみられる。

(3) 指導に当たって

本単元では、小数を整数化してみるアイデアを積極的に活用し、5、6年生の小数や分数の乗法・除法の学習でも活用できるようにしていきたい。また、問題場面を分析したり数直線の図に表す活動を通して、問題構造をとらえ、同じとみる目を育てていきたい。

【数学的な表現を使って考える活動】

- 問題場面を分析することで「一つ分」「幾つ分」「全体」などの数の関係をとらえたり、数直線の図に表して問題を整理する活動を通して、既習の整数の乗除場面と同構造であることをとらえられるようにする。
- 既習の整数の乗法や除法の計算を基に考える（小数を整数化して考えるアイデアを用いる）活動を通して、小数の乗法や除法の計算方法や意味を考えることができるようにする。

【数学的な表現を使って学び合う活動】

- 問題場面を図や式と関連付けながら学び合う活動を通して、小数×整数、小数÷整数、整数÷整数（商が小数）の計算の意味や計算の仕方について理解を深めていく。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算の意味や計算の仕方について理解し、それらの計算ができるようにするとともに、小数の理解を深めるようにする。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
・小数×整数、小数÷整数の計算の意味や計算の仕方を、既習の整数の乗法や除法の計算と関連付けてとらえようとする。	・小数×整数、小数÷整数の計算について、既習の整数の乗法や除法の計算を基に考え、図、式を用いて答えを求めたり、計算の仕方をまとめたりしている。	・小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算をすることができる。	・小数×整数、小数÷整数、整数÷整数（商が小数）の計算の意味や計算の仕方を理解している。

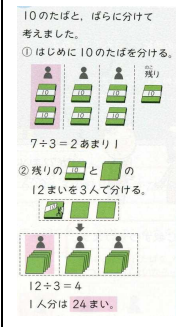
4 教材の関連と発展

○ 数を拡張すること  
 ○ 計算について考えること  
 ・ 数の見方を変えること  
 ・ それまでの持っている知識・技能を使って新たな計算方法について考えること

3年④わり算（九九1回適用）  $24 \div 4 = 6$   
 ⑦あまりのあるわり算（九九1回適用）  $32 \div 6 = 5$ あまり2  
 ⑩大きい数のわり算（位ごとに計算）  $69 \div 3$   
 $69$ を $60$ と $9$ に分けて  $60 \div 3 = 20$   $9 \div 3 = 3$   $20 + 3 = 23$

3年⑪小数  
 ・ 1 Lを10等分した1こ分のかさには0.1 L  
 ・ 2.8を「2と0.8」とみたり「0.1の28こ分」と考えたりすると、いろいろな表し方ができる。

4年③わり算の筆算（1）  $72 \div 3$



$$\begin{array}{r} 24 \\ 3 \overline{) 72} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$$

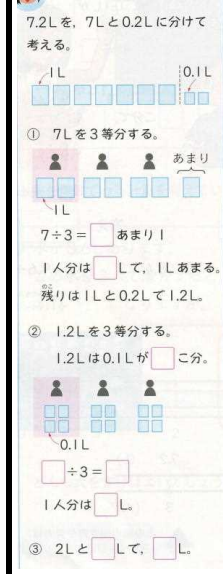
①⑤  
②  $2 \times 3$   
③④  
④  
⑥  $4 \times 3$   
⑦⑧

〈十の位の計算〉  
 ①②③ 10の束を分ける操作に対応  
 ④ 10の束をばらす操作に対応  
 〈一の位の計算〉  
 ⑤⑥⑦ ばらした10とばらを合わせて分ける操作に対応  
 ⑧おろせなくなったら終わり

4年③わり算の筆算（1）  
 $600 \div 3 = 200$ （100の束で  $6 \div 3 = 2$ ）  
 $120 \div 4 = 30$ （10の束で  $12 \div 4 = 3$ ）

本時

4年⑫小数のかけ算とわり算



$$\begin{array}{r} 2.4 \\ 3 \overline{) 7.2} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$$

①④⑥  
②  $2 \times 3$   
③⑤  
④  $4 \times 3$   
⑦⑧⑨

〈一の位の計算〉  
 ①②③ 1を分ける操作に対応  
 ④商の小数点をうつ。  
 〈10分の1の位の計算〉  
 ⑤⑥⑦ 1.2を0.1の12こ分として分ける操作に対応  
 ⑧おろせなくなったら終わり

4年⑩小数のしくみ

整数も小数も隣り合う位は10倍、1/10の関係にある。

1と0.1、0.01の関係を考えよう。

0.1 ..... 1の  $\frac{1}{10}$   
 0.01 ... (0.1の  $\frac{1}{10}$ ) ... 1の  $\frac{1}{100}$   
 0.001 ... (0.01の  $\frac{1}{10}$ ) ... 1の  $\frac{1}{1000}$

4年⑫小数のかけ算とわり算

2.37 位が拡張されても、  
 4)9.48 ① ②  
 $\frac{14}{12}$  ③  
 $\frac{28}{0}$  ④  
 ①  $\frac{1}{4} \div 6$  ②  $\frac{15}{4} \div 6$  ③  $\frac{0.3}{5} \div 1.7$  ④  $\frac{0.34}{5} \div 1.7$

・操作との関連付けによる意味理解を確かなものにしていく。  
 ・計算のきまりを活用して既習と同じとみる考え方に移行していく。

5年⑤小数のわり算

除数、被除数に同じ数をかけて計算しても、答えは同じ

$$\begin{array}{r} 1.2 \\ 6.3 \overline{) 75.6} \\ \underline{63} \phantom{0} \\ 126 \\ \underline{126} \\ 0 \end{array}$$

5年⑮分数のかけ算とわり算

$\frac{4}{5} = \frac{8}{10} = \frac{12}{15}$   
 $\frac{4 \times 2}{5 \times 2} = \frac{4 \times 3}{5 \times 3}$

分母と分子に同じ数をかけても、分数の大きさは変わらないね。

$$\frac{4}{5} \div 3 = \frac{4 \times 3}{5 \times 3} \div 3 = \frac{4 \times 3 \div 3}{5 \times 3} = \frac{4}{5 \times 3} = \frac{4}{15}$$

5 単元の指導計画（15時間）（◎全員の評価の機会とする観点 ○補完する評価の機会とする観点）

時	目 標	学 習 活 動	評価規準（評価方法）	
			数学的な考え方	関心、技能、知識・理解
①小数のかけ算【5時間】				
1	【プロローグ】	・小数を10倍、100倍、 $1/10$ 、 $1/100$ にした数の位や、乗法計算における被除数と積の関係を振り返って話し合いながら、新たな課題となる乗数や除数が整数の場合の小数の乗除計算について、興味・関心を高めるようにする。		
	小数×整数の計算の意味を理解し、その計算ができる。	・式に表し、その式になる理由を考える。 ・ $0.3 \times 6$ の計算の仕方を考えまとめる。 ・計算練習をする。		◎ <input checked="" type="checkbox"/> 関 小数の乗法計算の仕方や意味を、既習の整数の乗法計算と関連付けて考えようとしている。（ノート）
2 3	小数（ $1/10$ の位まで）×1、2位数の筆算の仕方を理解しその計算ができる。	・ $3.6 \times 7$ の計算の仕方を考える。 ・ $3.6 \times 7$ の筆算の仕方を考えまとめる。 ・計算練習をする。 ・ $0.2 \times 4$ 、 $0.8 \times 5$ 、 $7.5 \times 4$ の筆算の仕方を考える。 ・ $1.8 \times 34$ の筆算の仕方を考えまとめる。 ・上記型計算問題と文章題に取り組む。	◎小数（ $1/10$ の位まで）×1位数の筆算の仕方を、既習の整数の乗法の筆算を基に図や式を用いて考え、説明している。（ノート・学習の様子） ○積の末位の0の処理について、小数の記数法に基づいて考えている。（ノート）	○ <input checked="" type="checkbox"/> 技 小数（ $1/10$ の位まで）×1、2位数の筆算ができる。（ノート）
4	小数（ $1/100$ の位まで）×1位数の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	・ $1.36 \times 7$ の計算の仕方を考え。 ・ $1.36 \times 7$ の筆算の仕方を考えまとめる。 ・計算練習をする。 【発展】「算数発見!」を読み、ジュースの本数が2倍、3倍…になると、全部のジュースの量も2倍、3倍…になることを知る。	○小数（ $1/100$ の位まで）×1位数の筆算の仕方を、既習の乗法の筆算を基に乗法の性質を用いて考え、説明している。（ノート・学習の様子）	◎ <input checked="" type="checkbox"/> 技 小数（ $1/100$ の位まで）×1位数の筆算ができる。（ノート）
5	学習内容を適用して問題を解決する。	・「力をつけるもんだい」に取り組む。		◎ <input checked="" type="checkbox"/> 技 学習内容を適用し、問題解決できる。（ノート）
②小数のわり算【7時間】				
6	小数÷整数の計算の意味を理解し、その計算ができる。	・立式し、その式になる理由を考える。 ・ $3.6 \div 3$ の計算の仕方を考え、まとめる。 ・計算練習をする。		◎ <input checked="" type="checkbox"/> 関 小数の除法計算の仕方や意味を、既習の整数の除法計算と関連付けて考えようとしている。（ノート）
7 本 時	小数（ $1/10$ の位まで）÷1位数の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	・ $7.2 \div 3$ の計算の仕方を考える。 ・ $7.2 \div 3$ の筆算の仕方を考えまとめる。 ・計算練習をする。	○小数（ $1/10$ の位まで）÷1位数の筆算を、既習の整数の除法の筆算を基に図や式を用いて考え、説明している。（ノート）	◎ <input checked="" type="checkbox"/> 技 小数（ $1/10$ の位まで）÷1位数の筆算ができる。（ノート）
8 9	$1/10$ 及び $1/100$ の位までの小数を1、2位数でわる筆算の仕方を理解し、その計算ができる。	・ $6.3 \div 7$ の筆算の仕方を考える。 ・ $95.2 \div 28$ の筆算の仕方を考える。 ・ $9.48 \div 4$ の計算の仕方を考える。 ・ $0.24 \div 6$ の筆算の仕方を考える。 ・計算練習をする。	◎ $1/100$ の位の小数÷1位数の筆算の仕方を、既習の除法の筆算を基に除法の性質を用いて考え、説明している。（ノート・学習の様子）	○ <input checked="" type="checkbox"/> 知 $1/10$ 及び $1/100$ の位までの小数を1、2位数でわる筆算仕方を理解している。（ノート）
10	余りを求める計算で、余りの大きさについて理解しそ	・ $46.7 \div 3$ の筆算をし、商を一の位まで求め、余りの大きさを考える。検算をする。	◎余りを、単位とする小数の何個分として考え、説明している。（ノート・	○ <input checked="" type="checkbox"/> 技 小数÷整数で余りのある計算ができる。（ノート）

	の計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余りの小数点の位置についてまとめる。</li> <li>・適用問題に取り組む。</li> </ul>	学習の様子)	
11 12	わり進みをするときの筆算の仕方を理解しその計算ができる。商を概数で表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>6 \div 4</math>の筆算で、わり進むときには、被除数に0を補って続けることを押さえる。</li> <li>・<math>1.7 \div 5</math>の筆算の仕方を考える。</li> <li>・<math>13 \div 3</math>の商を概数で表すことについて考える。</li> <li>・適用問題に取り組む。</li> </ul>	○小数点以下に0を補うことで、整数の場合と同じように計算が続けられることを考えている。(学習の様子・ノート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎<input checked="" type="checkbox"/>整数÷整数わり切れるまで計算ができる。(ノート)</li> <li>◎<input checked="" type="checkbox"/>商を四捨五入して概数で求めることができる。(ノート)</li> </ul>
③小数の倍【1時間】				
13	小数倍の意味について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40m, 60m, 50m, 30m は、20mの何倍かを求める。</li> <li>・小数を用いて倍を表すことをまとめる。</li> </ul>	◎小数倍の意味について、図や式を用いて考え、説明している。(学習の様子・ノート)	○ <input checked="" type="checkbox"/> 小数倍の意味を理解している。(ノート)
④まとめ【2時間】				
14	学習内容を適用して問題を解決する。	・「力をつけるもんだい」に取り組む。		◎ <input checked="" type="checkbox"/> 学習内容適用して、問題を解決できる。(ノート)
15	学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	・「しあげのもんだい」に取り組む。		◎ <input checked="" type="checkbox"/> 基本的な学習内容を身に付けている。(学習の様子・ノート)

6 本時の指導

(1) 目標

1/10の位までの小数を1位数でわる筆算の仕方を理解し、その計算ができる。

(2) 指導に当たって

【数学的な表現を使って考える活動】

・わり切れない整数部分と小数部分も、0.1を基にして考える（小数を整数化する）活動を通して、前時までのわり算と同様に分けることができることに気付かせ、図や式を用いて自分の考えを表すことができるようにする。

【数学的な表現を使って学び合う活動】

・図と筆算の手順を関連付けながら学び合う活動を通して、小数の筆算の仕方や意味をとらえさせる。

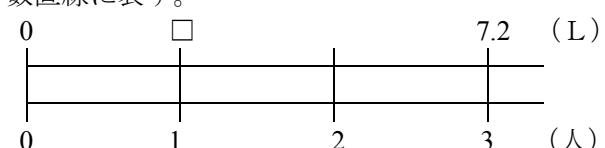
【振り返る活動】


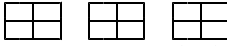
- ・板書をもとに、学習のポイントを整理し、本時の学習を価値付ける。
- ・適用問題により、筆算の仕方を確認する。
- ・視点を示して児童に学習感想を書かせ、本時の学びを自覚させる。

(3) 評価規準（技能）

1/10の位までの小数を1位数でわる筆算ができる。（学習活動の様子・ノート）

(4) 展開

過程	学習活動	教師の働きかけと予想される反応	◆研究の重点 ・留意点 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">評</span> 評価
とらえる      7分	1 問題把握と課題把握	<p>○問題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">水が 7.2 L あります。この水を 3 人で等分すると、1 人分は何 L になりますか。</div> <p>・問題分析 全体 7.2 L 幾つ分 3 求めることは 1 つ分</p> <p>・数直線に表す。</p>  <p>0 1 2 3 (人)</p> <p>・3 人で等分し 1 人分の水の量を求めるからわり算</p> <p>・<math>\square \times 3 = 7.2</math> <math>\square = 7.2 \div 3</math> で求められる。</p> <p>・<math>7.2 \div 3</math> 答えは 2 L とちょっと</p> <p>・筆算でできそう。</p> <p>○筆算でやってみよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <math display="block">\begin{array}{r} 2.4 \\ 3 \overline{) 7.2} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 1.2 \\ \underline{1.2} \\ 0 \end{array}</math> </div> <div style="text-align: center;"> <math display="block">\begin{array}{r} 2.4 \\ 3 \overline{) 7.2} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 1.2 \\ \underline{1.2} \\ 0 \end{array}</math> </div> <div style="text-align: center;"> <math display="block">\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{) 7.2} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 1 \phantom{0} \\ \phantom{1.} \end{array}</math> </div> </div> <p>・多分、整数のわり算のように筆算してもいいと思う。</p> <p>・小数点をどうすればいいのかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7.2 ÷ 3 の筆算 (図で確かめよう)</div>	<p>・ペットボトル入りの水の写真を提示し、量感や整数部分と小数部分に着目させ、どのように分けるかのイメージを持たせる。</p> <p>・数直線に表す活動を通して除法場面であることを理解できるようにする。</p> <p>・筆算の妥当性を確かめることが課題になるようにさせていく。</p>
考える	2 自力解決	<p>○自分の考えを図や式、言葉を使って、ノートにかかせる。</p> <p>・7.2 L を 7 L と 0.2 L に分けて考える。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1L</div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 5px;"></div> <div style="margin: 0 5px;">⋮</div> <div style="margin: 0 5px;">□□</div> <div style="margin-left: 5px;">← 0.1L</div> </div>	<p>◆わり切れない整数部分と小数の部分も、0.1を基にして考える（小数を整数化する）活動を通して、前時までのわり算と同様</p>

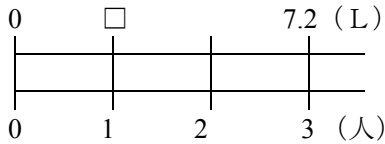
8分		<p>まず、7 Lを3等分する。</p>  <p>1人分 2人分 3人分  あまり  <math>7 \div 3 = 2</math>  あまり 1  1人分は2 Lで1 Lあまる。  残りは <math>1 \text{ L} + 0.2 \text{ L} = 1.2 \text{ L}</math>  次に、1.2 Lを3等分する。  <b>1.2 Lは0.1 Lの12こ分</b>      <math>12 \div 3 = 4</math>  0.1 Lの4こ分だから1人ぶんは0.4 L  だから、<math>2 \text{ L} + 0.4 \text{ L} = 2.4 \text{ L}</math>  位ごとにわけていく。分けられなかったらばらす。  だから筆算でできる。</p>	<p>に分けることができることに気付かせ、図や式を用いて自分の考えを表すことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>とまどっている児童には前時を想起させ、図や0.1をもとにして考えるよう促す。</li> </ul>												
10分	3  共同思考	<p>○考えを説明させ、筆算の仕方と関連付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どの考え方も0.1を基にして考えている。</li> <li>小数を整数に置き換えて考えれば、分けることができる。</li> <li>位ごとに分けていけば、筆算でできる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>小数点をそろえてうっ！</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right; padding-right: 10px;"><math>\begin{array}{r} 2.4 \\ 3 \overline{) 7.2} \\ \underline{6} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}</math></td> <td style="padding-left: 10px;">①一の位の <math>7 \div 3</math> をする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>②小数点をそろえてうっ。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③ <math>1/10</math> の位の2をおろす。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>④ <math>1/10</math> の位の <math>12 \div 3</math> をする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>商は2.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>検算 <math>3 \times 2.4 = 7.2</math></td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>大きい位から、</li> <li>たてる→かける→ひく→おろす</li> <li>分けられなかったらばらす    <b>今まで通り！</b></li> </ul>	$\begin{array}{r} 2.4 \\ 3 \overline{) 7.2} \\ \underline{6} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$	①一の位の $7 \div 3$ をする。		②小数点をそろえてうっ。		③ $1/10$ の位の2をおろす。		④ $1/10$ の位の $12 \div 3$ をする。		商は2.4		検算 $3 \times 2.4 = 7.2$	<p>◆<b>図と筆算の手順を関連付けながら学び合う活動を通して、小数の筆算の仕方や意味をとらえさせる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①の具体的な分け方と筆算の手順の意味を確かめていく。</li> <li>筆算でできるよさを感じさせる。</li> <li>検算はかけ算の性質を用いてできることで確かめさせる。(整数×小数は未習のため)</li> </ul>
$\begin{array}{r} 2.4 \\ 3 \overline{) 7.2} \\ \underline{6} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$	①一の位の $7 \div 3$ をする。														
	②小数点をそろえてうっ。														
	③ $1/10$ の位の2をおろす。														
	④ $1/10$ の位の $12 \div 3$ をする。														
	商は2.4														
	検算 $3 \times 2.4 = 7.2$														
20分	4  まとめ	<p>○板書をもとに振り返る活動を行う。</p> <p>○筆算の手順を囲むことで、まとめとする。</p> <p>○適用問題を解かせる。</p> <p>2  ① <math>8.4 \div 7</math>    ② <math>9.6 \div 4</math>  ③ <math>5.1 \div 3</math>    ④ <math>7.8 \div 6</math></p> <p>3  ① <math>35.6 \div 2</math>    ② <math>73.8 \div 6</math>  ③ <math>65.5 \div 5</math>    ④ <math>83.2 \div 4</math>  ⑤ <math>14.8 \div 4</math>    ⑥ <math>20.4 \div 3</math>  ⑦ <math>36.4 \div 7</math>    ⑧ <math>84.6 \div 9</math></p> <p>4  16.2 mのロープを3人で等分すると、1人分は何mになりますか。</p> <p>○学習感想を書かせる。</p> <p>視点①前の学習と違うこと・同じこと  視点②小数の筆算でもっと学習したいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小数のわり算でもいつものように筆算ができることがわかった。小数点を忘れないようにしたい。</li> <li><math>1/10</math> の位のわり算ができるなら、<math>1/100</math> の位のわり算もできそうだ。</li> </ul>	<p>◆<b>板書をもとに、学習のポイントを整理し、本時の学習を価値付ける。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小数のわり算も整数のわり算と同様に筆算でできることを確認する。</li> </ul> <p>◆<b>適用問題により、筆算の仕方を確認する。</b></p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評</span> <math>1/10</math> の位までの小数を1位数でわる筆算ができる。  (学習活動の様子・ノート)</p> <p>◆<b>視点を示して児童に学習感想を書かせ、本時の学びを自覚させる。</b></p>												

(5) 板書計画

小数のわり算の筆算

水が7.2Lある。(全体)  
3人で等分すると(いくつ分)  
1人分は何Lか。(1つ分)

$$\square \times 3 = 7.2$$



式  $7.2 \div 3 =$

(見当 2Lと少し)

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{) 7.2} \\ \underline{6} \\ 1 \end{array} \quad \begin{array}{r} 2.4 \\ 3 \overline{) 7.2} \\ \underline{6} \\ 1.2 \end{array}$$

小数を

どうしよう?

小数点は?

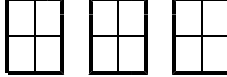
7.2Lを7Lと0.2Lにわけろ。



1人 2人 3人 あまり 1.2

$$7 \div 3 = 2 \text{ あまり } 1$$

1.2Lは0.1Lの12こ分



$$12 \div 3 = 4$$

0.1Lが4こ分で0.4L

だから  $2L + 0.4L = 2.4L$

7.2 ÷ 3 の筆算 (まとめ)

② 小数点をつける!

$$\begin{array}{r} 2.4 \\ 3 \overline{) 7.2} \\ \underline{6} \\ 1.2 \end{array} \quad \text{① 一の位の計算} \quad 7 \div 3 = 2 \text{ あまり } 1$$

$$\begin{array}{r} 1.2 \\ \underline{6} \\ 1.2 \\ \underline{1.2} \\ 0 \end{array} \quad \leftarrow 0.1 \text{ の } 12 \text{ こ分} \quad \text{③ } 1/10 \text{ の位の計算} \quad 12 \div 3 = 4$$

- ・大きい位から
  - ・たてる→かける→ひく→おろす
  - ・分けられない→ばらす!
- いつもどおり!

適用問題

$$\begin{array}{r} 1.2 \\ 7 \overline{) 8.4} \\ \underline{7} \\ 1.4 \\ \underline{1.4} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 17.8 \\ 2 \overline{) 35.6} \\ \underline{2} \\ 15 \\ \underline{14} \\ 1.6 \\ \underline{1.6} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 7.2 \\ 4 \overline{) 14.8} \\ \underline{14} \\ 8 \\ \underline{8} \\ 0 \end{array}$$

4 式  $16.2 \div 3 = 5.4$

答え 5.4m

$$\begin{array}{r} 5.4 \\ 3 \overline{) 16.2} \\ \underline{15} \\ 1.2 \\ \underline{1.2} \\ 0 \end{array}$$